

研究課題名「閉塞性黄疸を伴う胆道癌患者に対する経皮経肝胆道ドレナージ施行後の胸膜再発に関する検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2001年1月1日から2015年12月31日までに当院消化器外科1にて胆管切除を伴う肝切除をうけられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

胆管癌に伴う閉塞性黄疸の術前治療において減黄処置を行うことがある。経皮経肝胆道ドレナージは1つの選択肢であるが、ドレナージルートは経腹的や経胸的になることがある。本研究では、ドレナージルートの差異に伴う再発形式に関する検討し、安全性の検討が目的である。2001年1月1日から2016年12月31日までに当院消化器外科1にて、術前に経皮経肝ドレナージを施行し、減黄処置を行った後に、胆管切除を伴う肝切除または膵頭十二指腸切除が行われた300例を対象とする。診療録から患者データを参照し、ドレナージルートの検索・再発形式について統計学的解析を行い、検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、手術内容、術後経過、検体結果(採血、drain 排液)等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院 腫瘍外科学 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

研究担当者氏名：名古屋大学大学院 腫瘍外科学 山下 浩正

(電話 052-744-2222、ファックス 052-744-2230)

研究責任者：名古屋大学大学院 腫瘍外科学消化器外科1 柳野 正人

(電話 052-744-2222、ファックス 052-744-2230)